

# ケアセンター成瀬

## 20年のあゆみ



### 20th anniversary

1994年度 平成6年度	1993年 平成5年度	1992年 平成4年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ケアセンター成瀬」着工。市長参加で起工式</li> <li>・「ケアセンター成瀬」の具体的な活動に向け「住民の会」内でアンケート実施。ボランティアも募集・バザー、映画会等で資金調達</li> <li>・東京都より社会福祉法人「創和会」設立が認可された（申請翌年の認可は異例） 準備金は150万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民集会で「センター建設促進住民の会」設立準備事務局発足が決まり、「法人設立準備」「建設」「研修」「資金」「広報」の5つの委員会が活動を開始</li> <li>・「ケアセンター建設促進住民の会」設立</li> <li>・「ケアセンター成瀬ニュース」第1号発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暖家の会が地域住民や自治会に「成瀬台に高齢化社会を共に生きるためのコミュニティセンター建設を求める陳情」を呼びかけ、署名4,499通を添えて町田市長に提出</li> <li>・「成瀬台高齢者サービスセンター」の基本構想を考えるプロジェクト委員会」発足</li> </ul>

1996年 平成8年度	1995年 平成7年度
<p><b>目的</b></p> <p>① ケアセンター成瀬の運営に協力 ② 「みんなで作る暮らし易いまち」づくりを実践する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ケアセンター成瀬」営業開始</li> <li>・「ケアセンター成瀬 住民の会だより」第1号発行</li> <li>・デイサービス利用者とともにバス旅行等多くの行事を開催。地域行事にも参加</li> <li>・「エプロン製作」「ダンケムジークの会」など13のボランティアグループ結成</li> <li>・ダンケムジーク発足記念コンサート開催（200名が来聴。読売新聞に掲載される）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「りんごマークの街づくり」「資料集」を編集（小冊子編集委員会）</li> <li>・川上村一泊バス旅行など交流行事を多数開催し、映画会、バザー、フリーマーケットで資金づくりを行う。なるせだいまつり等、地域の行事にも参加</li> <li>・調理ボランティア実習（13回）</li> <li>・3級ヘルパー養成講座開講</li> </ul>

1999年 平成11年度	1998年 平成10年度	1997年 平成9年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町田市健康なまちづくり検討会に参加し、成瀬台小学校余裕教室の活用を提言</li> <li>・特定非営利活動法人「エヌピーオーアップルサービス」を設立</li> <li>・「住民の会の目的である「高齢社会を共に生きるまちづくり」を具体化するため、住民の会の有償事業部門をまとめ、NPO法人化した」</li> <li>・公的介護保険適用外のサービス援助事業を展開する</li> <li>・（食事サービス、住まいサービス、ホームヘルプサービス、介護用品の販売事業を行い、ボランティア活動だけでは解決できない事業に取り組む）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「公的介護保険を考える会」に参加。市長、市議会に陳情、請願署名を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化社会に向け地域ニーズアンケートを実施（約2,300人が回答）</li> <li>・成瀬台小学校余裕教室を借り、ミニデイサービス「きらく会」を始める</li> <li>・NHK教育テレビで社会福祉と住民参加が数回紹介される</li> <li>・ケアセンター成瀬や住民の会を訪れた見学者は157団体（1,650人） （ガイドボランティアが案内）</li> </ul>

2003年	2002年度	2001年	2000年
平成15年度	平成14年度	平成13年度	平成12年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター建設促進住民の会発足から10年目</li> <li>・有料老人ホームなどの施設見学を重ね、地域で安心して暮らすための施設を研究</li> <li>・老後を安心して生活するための生活支援（リビングサポート）を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バザー収益で掲示板を設置し、情報発信に役立てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の会あり方検討委員会を設置し、「ケアセンター成瀬支援住民の会」「社会福祉法人創和会（ケアセンター成瀬）」「NPOアップルサービス」の三者の役割と相互関係を明確化した。（以後方針を継続）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険法施行により、社会福祉法人「創和会」は町田市委託による介護サービス事業者から個人との契約による介護サービス事業者に</li> <li>・介護保険による報酬単価は低く、ケアセンター成瀬が存続できるか問われた年</li> <li>・特定非営利活動法人（略称NPO）アップルサービスが本格的に活動</li> <li>・ボランティアグループ登録者460名。年間のべ活動時間は36,000時間</li> </ul>



2007年	2006年	2005年	2004年
平成19年	平成18年度	平成17年度	平成16年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域懇談会開催。「地域包括支援センターの役割」や「後期高齢者（75歳以上）医療制度」を学ぶ（町田市担当課 講師）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアグループが充実・発展</li> <li>・スタートした創和会地域包括支援センターの役割を理解してもらうため、地域懇談会を5回開催</li> <li>・広報紙の名称を「住民の会だより」から「りんご箱」に変更</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らし高齢者への「ほっとコール」をスタート（週1回、電話でお話し）</li> <li>・施設と介護職の役割を開催</li> <li>・認知症の理解を深める活動の一環として、スウェーデンのモニカ・バリルンドさんによる講演会「認知症ケアにおける施設と介護職の役割」を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都社会福祉協議会より「地域福祉の進展に大きく寄与した」として表彰される</li> <li>・会の名称を「ケアセンター成瀬住民の会」に変更</li> <li>・ケアセンター成瀬を拠点として共生のまちづくりのための支援活動を続け、地域住民の会として存続していく</li> <li>・地域懇談会5回開催。地域ニーズを聞く</li> <li>・「住民の会だより」50号および「心のふれあう街づくり、住民の会だより」50号記念号を発行</li> </ul>

2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年
平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンケムジーク第50回コンサート開催</li> <li>・広報紙「りんご箱」第100号発行</li> <li>・住民の会発足20周年記念事業を企画（納涼祭行事、ケアセンター成瀬20周年記念号を作成配布、アルフォンス・デーケン先生講演会、交流バス旅行）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の会、創和会、NPOアップルサービスの連携協力体制が第三者評価委員会が高い評価を受ける</li> <li>・シニアカフェ「花みずき」でシニアの交流を支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本赤十字社を通じて東日本大震災被災地に10万円を寄付</li> <li>・地域密着型特別養護老人ホームケアセンター成瀬 暖家 開所</li> <li>・社会福祉法人創和会経営のシニアカフェ「花みずき」開店（運営に協力）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアセンター成瀬の大改修計画発表</li> <li>・街角の喫茶店の役割を果たしたテイルーム「暖」を閉店（3月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創和会包括支援センターの相談活動と連携し、住み慣れた地域で生活できる条件づくりに貢献</li> <li>・町田市介護支援ポイント事業が発足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアセンター成瀬まつりの収益でAED（自動体外除細動器）購入</li> <li>・地元の行事 どんど焼き、なるせだいまつりに参加（毎年）</li> </ul>